

コミュニティ くまっ

私と人とまちの間に

2024.JAN
138号

1

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

やってみたらええやん!

- 2 子どもを抱っこする手はいくつあってもいい 認定NPO法人 くさつ未来プロジェクト
- 4 子どもの笑顔だけはボロ儲け ダガシカシオテラ
- 6 まち語り 一枚の写真/de愛ひろばラジオ体操会
- 7 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
事業団からのお知らせ
- 8 もじうめスッキリ
ボイス

HOPE



夢に向かってジャンプ!

フリー&アフタースクールHOPEを開設したNPO法人くさつ未来プロジェクトは2024年も飛躍します。学校に行けなくなったり、障がいがあったって、不安なパパやママだって…勇気と希望をもってジャンプすれば、新しい景色が待ってます。

さあ、2024年のスタート。
あなたも一緒に、いっせーの一で! (P2)

撮影: おおえちえさん

寒さが身にしみる季節、こんな日はあったか〜いお鍋ですわ。最近では一年中楽しめるお鍋ですが、大根・水菜・ネギ...野菜たちが特に美味しいこの季節がやっばりサイコー。ほうれん草なんてビタミンCが夏の3倍なんだとか。琵琶湖の豊かな自然環境で栽培された草津市産の野菜「ベジクサ」が今日もスーパーに並びます。

2024.JAN
138号

1

なにごとにも挑戦するのって勇気がいりますね。不安や恐怖が先に立って、なかなか一步を踏み出せないものです。

そんなとき、誰かの一言で勇気をもらえたなんて経験はありませんか。

今回のキーワードは「**やってみたらええやん!**」

自信を持ってないママや子どもたちにこの言葉を投げかけ続ける人がいます。この言葉で子どもたちの笑顔が集まる場をつくった人がいます。

やってみたらええやん! 魔法の言葉です。



「よくママたち
が『背中を押
してもらえた』っ

て。子
の「わくわくエ
ンジン」を自分
で見つけられる
ように様々な体
験を用意するこ
とです。

そして子どもたちにはその

「**背中を押すフリだけ**」
KMPは育児サークルを中心
に、コーラス・料理・バランススポー
ル・映画の上映会からロケット教
室まで展開する元気な団体で
す。これだけ幅の広い活動です
が、共通しているのは「自分にで
きること、したかったこと、欲し
かかったこと」を、ママ自らが実践
していくということ。

子どもたちにはその

久しぶりに古いアルバムを出してみます。まだ幼いあなたを抱っこしてくれている人
たちの表情をよく見てください。あなたを見守る優しい眼差しと笑顔であふれています。
でもきつと、この笑顔の陰には人知れず悩みを抱えたり、時には疲れきったり…。
ここ草津には、そんなママたちに寄り添い、その人ならではの輝きを取り戻してくれる
素敵な団体があります。認定NPO法人「くさつ未来プロジェクト」(KMP)
あなたが草津にいてくれてホントに良かった。

認定NPO法人 くさつ未来プロジェクト

代表 堀江尚子さん(51歳)

子どもを抱っこする手はいくつあってもいい

「次男を抱っこしながら長男
を連れて外出した時にね、長男

いつも周りの人を明るく照ら
す堀江さんですが、KMPの活
動の原点はご自身が経験した子
育て中のしんどさだったとか。
結婚を機に草津に来た堀江さ
ん。3人の子どもの恵まれるも、
夫は仕事が忙しく、一人で子育て
に追われる日々。

どうすりゃいいのよ!?

て言ってくれるのですが、全然
そんなことないんですよ。私は
ただ『やってみたら?』と言った
だけ。ママの背中を押すふりを
したら、ママが自分で走り出し
ちゃったってことなんですよ。
(笑)」と、話すのはKMP代表
の堀江尚子さん。

が頭をケガしたことがあって。
頭から血は出てるし、すぐに手
当てして救急車を呼びたいの
に、両手は次男の抱っこでふさ
がってるし。どうすりゃいいのよ
!?ってオロオロするばかり。もう
パニックでした(笑)」
知り合いもいないまちでの子
育て、子どもや赤ん坊を連れて
の生活の大変さときたら、想像
以上でした。
それは病院で
も、買い物で
も、バスや電
車でも。

「当時は今ほど子育てを支援
してくれる施設やサークルもな
かったんですよ。若いママたちが
居場所を求めて、毎日あちらこ
ちらと動いていました。ようやく
く見つけたと思っても市外の人
だからと断られたり…。」
楽しいはずの子育てに追いつ
められる日々、どこかジリジリ

楽しいはずが…



と自分を失っていくような感覚。

そんな堀江さんを救ってくれたのは、とある子育てサークルで言われた言葉。

「子育て中だって、やりたいことをやっていいんだよ。ママがしんどいと子どもは笑顔になれないでしょ。子どもを人に預けるのは悪いことじゃないからね」

子どもを預けて自分の時間を持つことすら罪悪感を持っていた堀江さんの心が震えました。

ないなら、つくれ

〓居場所がないなら自分たちでつくればいいじゃん。〓



地元、玉川学区でママ友たちと育児サークルを立ち上げた堀江さん。そこで子育ての悩みを抱えるママが本当にたくさんいることを実感しました。

ママたちが「自分にできること、したかったこと、欲しかったこと」を実現することでママたち自身が輝き、互いにつながり、まちでの居場所をつくっていくため「NPO法人くさつ未来プロジェクト」を設立。2016年のことでした。※

今では子どもやパパママ向けの12事業を展開。なんと年間約400回、のべ1万人もが参加する団体となりました。

360度に大人を

そんなKMPの新たな挑戦が始まっています。それはフリースクールの運営。

「小さかった子どもたちも成長していきます。KMPに参加するパパママからも、子どもの不登校や引きこもりといった話をよく聞くようになったんです。発達障害や学習障害、LGBTの子も身近にいます。学校に行く〓以外の選択肢が必要だと感じていました」

そんな時、学習塾だったビルを貸してもらええる話を持ち上がったのです。とはいえ、多額の改修費が必要。そこでネットで寄付を募ったところ、約400人から800万円以上もの寄付をいただくことができました。

こうして2023年11月、草津駅近くにフリー&アフタースクール「HOPE」が開設しました。

「子どもを抱っこする手はいくつあってもいい〓を合言葉にしています。親であつてもママやパパの考えだけが正解じゃない。子どもの周り360度に様々な価値観をもつ大人が関わることで、子どもは自己をつくっていくんだと思います。

だから、このフリースクールもたくさん大人の関わってもらいます。寄付いただいた方も含めてみんなでつくる。そんな居場所で自分らしさを見つけて欲しいですね」



昨年の春、堀江さんの体に病気が見つかりました。このことがフリースクールの開設を決断させたのだとか。

「私は自分の身に起きることは意識の有無に関係なく、すべて自分が決めたことなんだと考えてます。結婚するのも、学校に行くのも行かないのも、病気になったことさえ全部自分が決めたこと。このタイミングでビルを貸してくれる人が現れたり、寄付いただけるってことは、私たちに「フリースクールをやってみろ」って言われているのだと感じて、決断しました」

たくさんの希望が詰まったHOPEが始動します。

フリー&アフタースクール HOPE

草津市大路1-19-13

フリースクール 火～金 10～14時

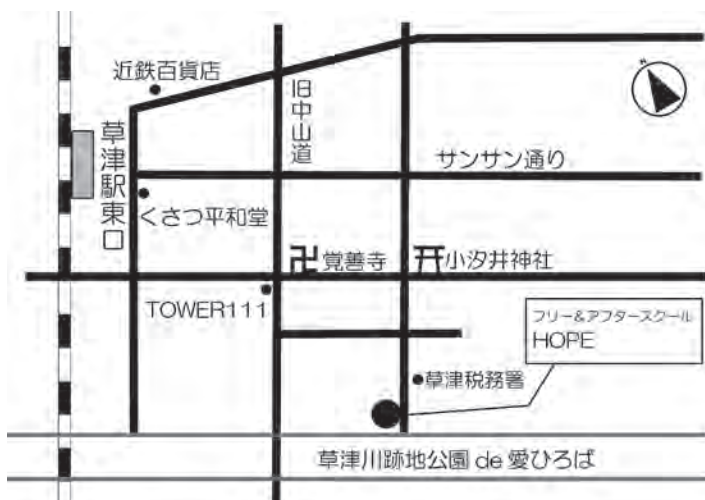
アフタースクール 月～金 15～19時



認定NPO法人 くさつ未来プロジェクト

HP <http://www.kmp-kusatsu.org>

※2018年より認定NPO法人





子どもの笑顔だけはボロ儲け ダガシカシオテラ

店長 山村卓也さん(45歳)



遠足の前の日、駄菓子屋さんで300円を握りながら、何度も計算しておやつを選ぶ。「遠足の
おやつは300円までルール」を経験した誰もが覚えている懐かしい一場面です。

そう、駄菓子は今でも子どもたちに大人気。今も昔も子どもたちの強い味方なんです。

そんな駄菓子で地域づくりに取り組むユニークな活動があります。

その名もダガシカシオテラ。さあ、開店です。

ヘンテコな名前

ここは志津・西方寺の境内。開基1111年を祝う祭りが地元の人で賑わっています。中でも子どもたちが夢中になっているのが駄菓子屋さん。

見つけました。子どもたちの輪の中で、ひとときわ笑っているこの人こそ、ダガシカシオテラの店長こと山村卓也さんです。背中に「駄」のTシャツ姿がなんともカッコいい。

こんなにTシャツが似合っても、子どもたちに「駄菓子のおっちゃん」と呼ばれても、山村さんはプロの駄菓子屋さんではありません。本職は別にもちろんながら、休みの日にここ西方寺や市内各地のイベントで駄菓子屋「ダガシカシオテラ」を開くのです。もちろんメンバーも地元志津を中心としたボランティアさん。

それにしても、駄菓子で地域づくりって、なんともユニーク。「ダガシカシオテラ」って名前もヘンテコだし。

うん、気になります。

2時間歩いて

京都で生まれ育った山村さん

が草津に引っ越してきたのは7年前。

父親から「知らない土地での生活は大変。子どもの名前まで覚えてもらえたら住みやすくなる。とことんやって皆さんから一目置かれるぐらい自分売り込みなさい」といわれたこともあって、子どもが小学生になったのを機に、自主的に朝の見守り活動を始めました。

そんな山村さんはもちろん、子どもたちから大の駄菓子好き。

「近所に4軒ぐらい駄菓子屋さんがあって、ハシゴしてました。中学生の頃も友だちと『ちよっと行こか』というところ、それは駄菓子屋さんのこと。高校生になっても、親からもらう食代500円のおつりをもって学校帰りに駄菓子屋さんへ。電車賃まで駄菓子に使ってしまい、家まで2時間歩いたこともありまう(笑)。駄菓子屋さん特有のあの匂いが大好きで、今でも癒されます」

自分でやってみたい？

「駄菓子は立派な日本の文化」と言う山村さんでしたが、地元駄菓子屋さんが見当たらない。

い。志津まちづくりセンターを訪れた際に職員さんに聞いてみました。「この辺りに駄菓子屋さんってないの?」。すると思いません。返事が。

「自分でやってみたい?」山村さん、駄菓子愛のスイッチが入りました。

メンバーは山村さんや職員さんの呼びかけですぐに集まりました。まずは職員さんの自宅である西方寺でお供えのお菓子を下さり、子どもたちに駄菓子屋さんで楽しんでもらおうという試み。お寺で開く駄菓子屋さんだから

「だが、しかし、お寺」

「ダガシカシオテラ」

とはユニークな命名です。

会話が生まれる場所

仕入れ担当の山村さん。駄菓子好きの山村さんにとって駄菓子の卸問屋はもう宝の山でした。



山村卓也さん

「食べたいお菓子はかりで、あれもこれも買い揃えたい(笑)」と予算オーバーで自腹を切つてまで仕入れてくるものだから、メンバーもあきれ顔。

開店に向けての値段設定にも苦労しました。元の金額を考えると、どうしても端数が出てしまつ。でも、子どもたちが自分で計算しやすく、お小遣いで買える手ごろな値段にしたいと頭をひねります。備品は地元や山村さんの勤務先から提供してもらいました。いよいよ開店です。



「今の子どもたちって意外なことを知らないんです。パッケージの開け方、当たりくじの場所、駄菓子の食べ方……。だからスタッフが教えてあげる。おっちゃん・おばちゃんが自慢できる場所でもあるんですよ」と山村さん。

「親御さんが1000円ピッタリに買えた子どもに『計算できて、えらいやん』ってホメたり、子どもたち同士で教え合ったり。自然と会話が生まれるのが、駄菓子屋さんの良いところですね。

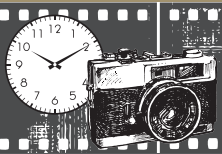
駄菓子買って買ってその場で食べるから、どうしてもゴミが出てしまう。ゴミを拾ってきてくれた子には『ありがとう』ってアメ玉をつ。駄菓子を通じたやり取りにこんな教育的な視点も出てきます。主役は子どもだけと地域ぐるみの大人の力があってこそ成り立つ場所なんです」



「子どもたちからは道で出会っても『駄菓子のおっちゃん』って声をかけられます(笑)。嬉しいですね。手伝ってくれる大人や来てくれる子どもが増えて、子どもたちが地元の大人たちの顔を知れば知るほど地域は安全な場所になると思います。だから今、駄菓子だけでなく射的やスマートボールなど縁日のような雰囲気のを、たくさんの大人たちとつくっていけたらと考えています」と、駄菓子で地域づくりを目指す山村さん。

「何を買おうか迷ってるかわいい姿や、目をキラキラ輝かせている子どもたちを見ているのが何より嬉しい。駄菓子屋を始めてよかったなと思います。みんなボランティアなので労働力は0円、儲けも0円。でも、子どもの笑顔だけはボロ儲けです」(笑)



まち語り
一枚の写真

まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから、のコミュニティを見つめます。」

橋上駅になる前の
草津駅

写真は昭和40年ごろの草津駅舎と駅前広場です。駅舎は、明治22年(1889)の開業当初のものを使用していましたが、昭和35年(1960)ごろに増築されました。下屋に「草津駅」の看板があるところから左手が増築された部分です。駅舎の右手奥には、ホームへ渡る跨線橋もみえています。駅舎は線路より東側にあったことから、東への乗降に限られていました。したがって線路より西側の人たちは、いまのLty932南側地下通路のところにあった踏切を渡ってこの駅舎を利用していましたし、バスなども狭い踏切を越えて、この駅前広場へと入っていました。駅前広場周辺には国鉄関係の施設や、民間の売店などもありました。

駅前広場には、バスやタクシーが停まっており、駅舎の軒下などでバス待ちをする人たちがいます。オーバーなど防寒着を着ている人が見られることから、冬の日でしょうか。よそ行き和装すがたの人もみえます。バスは、現在の草津市内や栗東市内への路線とともに、写真奥に停まっている国鉄バスは甲賀市の水口や三重県の亀山方面まで走っており、鉄道やバスの利用者などでラッシュ時にはかなり混雑が見られたようです。この写真から2年後の昭和42年(1967)4月には、この駅舎にかわり線路を跨ぐ橋上駅舎が新築・開業し、5月には駅前広場も拡張されました。さらにその翌年に駅の西口が開設され、それまでの東側からだけでなく西側からも乗降ができるようになりました。



文・草津宿街道交流館



♪ 腕を前から上にあげて ♪

1級ラジオ体操指導士 橋口涼さん(24歳)



「始めたのは2年前。最初は2~3人でした。口コミで徐々に増え、今では毎回来てくれる人も」と橋口さん。やがてお馴染みのメロディーが流れ、橋口さんのかけ声で1・2・3・4!

ラジオ体操第1・第2と軽く汗を流すと、皆さんスタンプ帳を持って橋口さんにハンコを押してもらいます。ハンコを押しながら、一人ひとり丁寧に話しかける橋口さん「会話できるこの時間が大切で」

子どものころからラジオ体操が大好きだった橋口さん。その愛が高じて指導士の資格も取りました。「草津が好き。健幸都市づくりに取り組む草津に少しでも貢献したくて始めました。皆さんにラジオ体操の正しい動作で健康になってもらいたい。地域のなくてはならない場所として続けていきたいですね」

ラジオ体操はあなたに素敵な一日を約束してくれます。

草津川跡地公園de愛ひろばでは、土日祝日の朝にラジオ体操をやっています。主催するのは1級ラジオ体操指導士の橋口涼さん。24歳のさわやか青年です。

朝、「ラジオ体操やってます!」の、のぼりをもった橋口さんが現れると、続々と人が集まってきます。子連れの若い家族から年配の人まで、50~60人は集まっているのでしょうか。

de愛ひろばラジオ体操会

土日祝 8:40

草津川跡地公園de愛ひろば



株式会社 三井田商事

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は59周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16

TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

ひとりで悩まないで! まずはお電話を!
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津

くらし何でも相談

TEL:077-564-5512

住所:草津市大路1丁目1-1 TEL:932-4F406

電話がかかりにくい場合はこちらへ センターへの相談は無料です

滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内
0120-783-455 (くらし何でも相談専用)

ご近所まんが

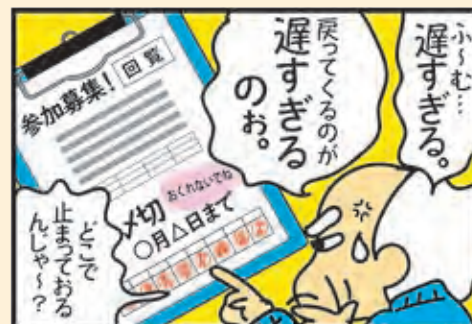
くさがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。

他のおはなし▶



はいいおそい



さく・com-com / え・まんじゅう

ひとまちキラリ まちづくり活動助成

2024年採択団体 決定

草津市コミュニティ事業団では市民による自主的・公益的なまちづくり活動
提案に助成しています。今年度は次の6団体への助成が決まりました。
今春からの活動をご期待ください。

♪はじめての、いっぽ部門

- **びわ湖まもり隊**
矢橋帰帆島中間水路沿いの
清掃活動「ぼくたちわた
たちのびわ湖を守ろう大作
戦」
- **ダガシカシオテラ**
駄菓子屋さん
- **くさがdeぎょぎょ魚**
草津市内の河川生態調査

♪そのさき、いっぽ部門

- **ばたばたふあーむ**
「あずき」de「あんこ」
- **たすけ愛隊 ママの手**
季節の味と安心を届ける愛
隊弁当
- **志津南芝桜プロジェクト**
ひと・まち・芝桜もキラリ!

問合せ (公財)草津市コミュニティ事業団
草津市大路二丁目1-35 キラリエ草津5F
TEL 565-0477 FAX 565-0411
HP まちサバくさつ <https://www.kusatsu-spp.net/>

本誌コーナー「徒然草津」を執筆いただきました熊谷栄三郎さんがご逝去されました。

熊谷さんには2010年夏から昨年1月まで、14年間43回にわたり執筆いただきました。
新聞記者として培ってこられた観察眼と持ち前の明るさで、ここ草津の魅力や日
常の一コマを軽妙かつ味わい深い文章でご紹介いただき、読者の皆さまからも毎
号、感想が寄せられる人気コーナーとして本誌を支えてくださいました。
心よりご冥福をお祈りいたします。



読売新聞



今こそ新聞を読む



読売センター草津西 / 有限会社 雄
〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205
ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索! または、今すぐ右のQRコードにアクセス!



SUMAIIDIA SDGs

環境のために、社会のために、私たちができること。

スマイディア(旧:スマイ印刷)は、
「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同します。
「関わる全ての人をSMILEに」という理念のもと、
事業活動と社会貢献活動を通じて
持続可能な社会の実現に貢献します。



SUMAIIDIA

株式会社 スマイディア (旧:株式会社スマイ印刷)



sumaidia_jp



@sumaidia_jp



草津のまちづくりを応援!!
まちサポくさつ



コミュニティくさつ 2024年1月号

ありがとう 設立40周年!

私たち草津市コミュニティ事業団は今年(2024年)で設立40周年。これも皆さまのおかげです。本当にありがとうございます。

私たちの役目は、

「こ」草津での

まちづくりを応援すること。

つまりお一人おひとりの

善意や活動を支える

「縁の下力もち」的な存在。

中間支援なんて言い方もします。

これまでたくさんの方と出会い、

一緒にまちを創ってきました。

40にして感わず。

人であれば不惑の歳となりました。

これまでの出会いと貴重な経験を

大切に活かしながら、

これからは縁の下で支えるだけでなく、

草津のまちづくりをリードする

頼れる存在となるよう、

職員一丸となって取り組んでいきます。

これからも、あなたとともに。

どうぞよろしくお願いします。



2024年は事業団の全部署・管理施設で設立40周年を記念した楽しい事業や取組みがいっぱい。要チェックです。お楽しみに!

- キラリエ草津(まちづくり振興課・総務課)
- 草津クレアホール
- 草津アマカホール
- 長寿の郷ロクハ荘
- ロクハ公園(草津市公園事務所)
- まち活マッ치의会

もじうめスツキリ

暖かな春が待ち遠しいですね。□に入る5文字を考えてね。

問

(1) 春の山菜の代表格。ほろ苦さがたまらない

ふきの□う

(2) 唇の上では春のはじまりです

□っしゅん

(3) 梅とお似合い。ホーホケキョ

うぐい□

(4) ♪あかりをつけましょ ぼんぼりに♪

ひ□まつり

(5) くしゃみ・鼻水・眼のかゆみ

かふ□しょう



応募方法

ハガキに①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしております。

※切 1月31日(水) 必着

宛先 〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)
(公財)草津市コミュニティ事業団「コミュニティくさつ1月号」係
☑ com-com@mx.biwa.ne.jp ☎ 565-0411

プレゼント

応募いただいた中から抽選で、niwa+(ニワタス)内の次の5店舗で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント

- ・セッションズ
- ・叶匠寿庵
- ・カフェトリ
- ・ミソラテラス
- ・コニーアイランドスタンダード



ポイズ

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

寒い冬の楽しみ



クレアホール

キラリエ草津

ロクハ公園

アマカホール

ロクハ荘

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

コミュニティ
くさつ